

令和6年度第3回川崎市行財政改革推進委員会 議事録

日 時 令和7年2月17日（月） 午前9時59分 ～ 午前11時20分

場 所 WEB会議にて開催（事務局：本庁舎7階総務企画局会議室）

出席者 委員 伊藤会長、内海委員、藏田委員、黒石委員
市 側 白鳥総務企画局長
鹿島行政改革マネジメント推進室長
猪俣行政改革マネジメント推進室担当部長
窪田行政改革マネジメント推進室担当課長
藤原行政改革マネジメント推進室担当課長
北川行政改革マネジメント推進室担当課長
北村行政改革マネジメント推進室担当課長
加藤行政改革マネジメント推進室担当課長
中村都市政策部企画調整課担当課長
白須公共施設総合調整室担当課長
川又財政局財政部財政課担当課長
峯元行政改革マネジメント推進室担当係長
大槻行政改革マネジメント推進室担当係長
五十嵐行政改革マネジメント推進室担当係長
原田行政改革マネジメント推進室担当係長
松田行政改革マネジメント推進室職員

議 題 1 （1）会議の公開について
（2）次期「川崎市行財政改革プログラム」について
（3）次期「出資法人の経営改善及び連携・活用に関する方針」について
2 その他

公開及び非公開の別 議題1（1）及び議題2公開、議題1（2）・（3）非公開

傍聴者 0名

議事

窪田行政改革マネジメント推進室担当課長

それでは、ただいまから令和6年度第3回川崎市行財政改革推進委員会を開催させていただきます。

私は、総務企画局行政改革マネジメント推進室担当課長の窪田でございます。よろしくお願いいたします。

それでは、会議に先立ちまして、幾つか事務連絡をさせていただきます。

初めに、本日、出石委員が残念ながらご欠席となってしまったのですが、定足数である過半数は満たしておりますので、本委員会は成立してございます。

次に、本日の議事内容につきましては、録音内容に基づきまして議事録を作成させていただき、公開等に

備えた手続を進めさせていただきたいと存じます。

最後に資料の確認でございますが、本日Z o o mで共有させていただく資料一式につきましては、あらかじめ金曜日になって、ぎりぎりになってしまっただけで申し訳なかったんですが、あらかじめメールなどで送付させていただいておりますので、併せてご覧をいただければと存じます。資料の不備などがございましたら、お申し出いただければと存じますが、よろしいでしょうか。

ありがとうございます。

なお、本日は第3回の委員会でございますことから、恐れ入りますが、個別出席者のご紹介は省略させていただきます。出席者一覧のとおりでございますので、ご確認くださいますようお願いいたします。

それでは、議事に先立ちまして、総務企画局長の白鳥から一言ご挨拶を申し上げたいと思います。局長、よろしくお願いいたします。

白鳥総務企画局長

改めましておはようございます。

本日もご多用のところ、ご参加をいただきまして、本当にありがとうございます。

7月にご意見をいただきました、これまでの取組の評価結果につきましては、おかげさまで無事公表することができました。そちらも、どうもありがとうございました。

それで、今後の話でございますが、令和7年度、この4月からの次年度は、川崎市の基本の計画である総合計画、こちらの全体の改定年度となっております。

それと併せて、本委員会に所管していただいております、改革プログラム、それから出資法人の方針、これらについても改めて策定すると、改定するという、そんな年になってございます。

現在、社会経済環境が、30年間の停滞、ここから脱却できるかという、まさに大変革期にあるというふうに認識しております。我々も、そうした認識をしっかりと持って、意識を転換して取り組んでいくことが求められていると、こんなふうに考えております。

本日は、この両計画の策定方針等について、案をお示ししたいと思います。忌憚のないご意見をいただけたらと思っておりますので、本日もどうぞよろしくお願いいたします。

窪田行政改革マネジメント推進室担当課長

ありがとうございます。

それでは、議事に進む前に、会議の公開についてでございます。

本委員会は原則公開とさせていただいておりますが、この後、議題（1）で、その後の議題の公開についてお諮りする予定ではございますが、本日の傍聴・取材につきましては、現時点で希望がございませんので、このまま進めさせていただきたいと思っております。

それでは、お手元の次第に従いまして進めさせていただきます。

ここからの進行は会長にお願いしたいと存じます。

伊藤会長、よろしくお願いいたします。

伊藤会長

よろしくお願いいたします。

それでは、次第に従って進めてまいりたいと思います。

初めに、会議の公開についてです。事務局からご説明をお願いいたします。

窪田行政改革マネジメント推進室担当課長

それでは、資料1をご覧いただければと思います。画面共有もさせていただいておりますが、会議の公開についてでございます。

根拠及び前提に記載してございますとおり、本委員会は会議の公開に関する条例に基づきまして、原則公開としてございますが、本日の議題(2)・(3)につきましては、非公開としたいと考えてございまして、その理由といたしましては、本件はいずれもまだ市内部の協議の過程にある案件でございますことから、この条例の第5条第3号の、公にすることにより、率直な意見の交換が不当に損なわれるおそれ、また、不当に市民の間に混乱を生じさせるおそれがあるもの、などに該当し得ると考えるためでございます。

したがいまして、事務局といたしましては、本日の傍聴は行わないこととしたいと存じます。

また、議事録につきましては、従前どおり作成いたしまして、後日資料についての情報公開、開示請求があった場合につきましては、会長と事務局とで協議の上、公開の可否を判断してまいりたいと存じます。

事務局からの説明は以上でございます。

伊藤会長

ありがとうございます。

今、事務局からご説明ありましたとおり、本日の委員会の議題の(2)・(3)につきまして、非公開として進めていきたいと思っております。よろしいでしょうか。

ありがとうございます。

それでは、以上の議題については、非公開として進めていきたいと思っております。

なお、資料につきましては、事務局と協議の上、資料ごとに公開、非公開の判断をさせていただきます。

(非公開)

伊藤会長

それでは、本日の議題は以上となりますので、本日は終了といたします。事務局に進行をお返ししたいと思います。

窪田行政改革マネジメント推進室担当課長

委員の皆様、長時間にわたりまして、ご審議いただきまして、ありがとうございました。

本日は皆様から貴重なご意見を多々いただきましたので、いただいたご意見を踏まえ、また、我々の検討がまだ浅い部分が多々あることを認識したところでございますので、引き続きご意見を賜りながら、よりよいプログラム・方針になりますよう、さらに検討を進めたいと考えております。

さて、本委員会につきましては、今年度最後の委員会となりますけれども、平成28年度の委員会発足以来、本委員会の会長として本市の行財政改革の推進にご尽力いただきました伊藤会長におかれましては、来年度はご都合により委員をお引き受けいただくことが難しいというご意向を伺っております。

恐縮ですが、ここで、伊藤会長から一言頂戴できればと思いますが、お願いできますでしょうか。

伊藤会長

私ごとで誠に申し訳ありませんけれども、来年度は大学のほうからサバティカルをいただくことになっております。特に在外研究をするために1年間いないということではなくて、日本国内にもいるんですけども、やはり研究に専念するというのが想定されておりますので、この委員会の委員は、申し訳ないんですけれ

ども、ご辞退させていただきたいというふうに考えております。

今ご紹介があったとおり、この委員会は、恐らく名称もちょっと異なるものも含めると、もう10年ぐらい私、委員、会長を担当してまいりました。

川崎市の行財政改革は、先ほど少しご紹介で、ほかの政令指定都市に比べてかなり項目が多いというようなことがあったということがあるわけですが、いろいろな課題について、それぞれ適切に進行を管理しているという観点で、非常に網羅的であり、かつ、先端的な取組であり、ほかの自治体にとっても参考になるようなものであったと理解しております。私もこの間、いろいろと審議に参加させていただく中で、非常に勉強になりました。

今後、次期プログラムの策定というところに入っていくわけですが、やはり委員の皆様方、事務局も共有しておりますとおり、情勢の変化が非常に激しい中で、川崎市としてどういう行財政を目指すのかということが改めて問われていると思います。来年度は、私は委員を辞退しますが、川崎市の取組、非常に注目されているというふうに思いますので、私も引き続き関心を持って勉強させていただきたいと思えます。どうも、これまでありがとうございました。

窪田行政改革マネジメント推進室担当課長

ありがとうございました。

事務局といたしましても大変残念なところではございますけれども、これまで本市の行財政改革の推進に当たりまして、数多くのご助言、また知見を賜りましたこと、改めて感謝申し上げます。来年度は難しいということではございますが、また今後、ぜひ本市にご助言、ご意見いただければ幸いです。

後任の委員のほうにつきましては、現在、事務局で調整中でございまして、委員の皆様には改めてご連絡を差し上げたいと存じます。

それでは最後に、行政改革マネジメント推進室、室長の鹿島よりご挨拶を申し上げたいと思えます。

鹿島行政改革マネジメント推進室長

本日はありがとうございました。鹿島です。1年間また振り返りまして、いろいろと作業のほう、お忙しい中、ご協力いただきましてありがとうございました。

本日も質疑の中ですっきりしない項目もあったやに認識しております。本日の内容をまた改めて振り返りながら、作業のほうを反映してまいりたいと考えておりますので、ご了承いただければと思います。

また途中、ご意見いただきました社会情勢、変化のスピードが大変速いということでは、私どもも認識しているつもりではありますけれども、改めて皆様方からご意見をいただきましたように、気を引き締めて庁内全体に認識を高めていかなければいけないなというふうに思っております。

また、来年また計画プログラム、共に改正していくに当たって、新しい川崎をつくっていくということで銘打って市長を前頭に進めておりますので、引き続き、また大変な作業をお願いすることになりますけれども、どうぞよろしくお願いしたいと存じます。

来年また、7月頃に次の会議を用意するというので、着々と作業を進めてまいりまして、改めてご相談させていただきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いします。

最後になりますが、伊藤委員におかれましては、本当に長期にわたりましてご協力いただきまして、ありがとうございました。また落ち着いたらお願いすることもあるかと思えますので、どうぞよろしくお願いいたします。

また蔵田委員、黒石委員、内海委員、出石委員、引き続き、またご協力のほど、改めてお願いいたします。最後になりますが、1年間ありがとうございました。

窪田行政改革マネジメント推進室担当課長

ありがとうございました。

それでは、以上をもちまして、令和6年度第3回川崎市行財政改革推進委員会を終了いたします。本日は、ありがとうございました。